

公 開 文 書

研究課題名 (研究番号 713)	ESR1 変異に着目した再発乳癌 1 次/2 次の一連治療 における耐性獲得メカニズムの解明
当院の研究 責任者(所属)	竹下 卓志 (乳腺・内分泌外科)
他の研究機関 および各施設の 研究責任者	なし
本研究の目的	ホルモン受容体陽性・HER2 陰性の再発・転移乳がん において、ホルモン療法±CDK4/6 阻害薬の治療効果 や耐性の発生に「ESR1 遺伝子変異」が関与している 可能性が指摘されています。本研究では、当院で過去 に治療された乳がん患者さんの診療情報や保存され ている検体を用いて、治療の効果や耐性の獲得と ESR1 変異の関連を解析し、より効果的な治療選択に つながる知見を得ることを目的としています。
調査データ 該当期間	2021 年 1 月 1 日 ~ 2030 年 3 月 31 日
研究の方法	本研究は、診療で得られた情報や検体を用いて行わ れる後ろ向き観察研究であり、研究の実施にあたり新 たな検査や治療等を行うことはありません。 【研究対象者】 以下の条件を満たす方が対象となります。 ・18 歳以上 ・ホルモン受容体陽性かつ手術不能・再発乳がんと診 断された方 ・口頭での同意またはオプトアウトによる同意の意思表 示がない方

<p>個人情報の 取扱い</p>	<p>【利用する情報・検体】 診療記録（カルテ情報、治療経過など） 病理検体（乳がん組織標本など） ※すべての情報は匿名化され、個人を特定できる情報は含まれません。 【研究成果の公表】 学会発表・学術論文等を通じて、研究成果を公表する場合がありますが、個人が特定される情報は一切含まれません。</p>
<p>本研究の資金源 （利益相反）</p>	<p>ありません。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>乳腺・内分泌外科 竹下 卓志 TEL: 096-365-1711(代表) 受付時間: 平日 9:00～17:00(土日祝を除く)</p>
<p>備 考</p>	